

会議の経過	
開会年月日時刻	令和6年1月30日（火） 午後3時00分
閉会年月日時刻	令和6年1月30日（火） 午後4時19分
会議の場所	館林市役所 研修室
会議次第	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会議録署名委員の指名 3. 前回会議録の承認 4. 教育長事務報告 5. 議事 <ul style="list-style-type: none"> 議案第 1号 臨時代理の承認を求めることについて（館林市立学校給食センター設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則） 議案第 2号 令和6年度奨学資金（新規募集）貸与候補者の決定について (非公開) 6. その他 7. 閉会 	

会議の経過

出席委員	<p>第1番 木戸浩之 第2番 栗原昇 第3番 金子千秋 第4番 川島健治 第5番 堀口哲哉</p>
欠席委員	<p>第1番 第2番 第3番 第4番 第5番</p>
提案説明のため出席した者	<p>教育長 川島健治 教育次長 始澤勝也 教育総務課長兼学校給食センター所長 木村和好 生涯学習課長 廣澤篤行 参事兼学校教育課長 井戸健二 文化振興課長 中村豊 スポーツ振興課長 高橋一哲 向井千秋記念子ども科学館長 石崎治 図書館長 森田秀利 総括係長 折原嘉和 書記 横山瑠璃子</p>

会議の経過

<p>教育長</p>	<p>それでは、定刻となりましたので、館林市教育委員会定例会を開会いたします。 (午後3時00分)</p> <p>本日の日程は別紙のとおりです。</p> <p>次に、日程第2 会議録署名委員を指名いたします。</p> <p>今回の署名委員は1番 木戸委員、2番 栗原委員を指名いたします。</p> <p>次に、日程第3 前回来議録の承認については、後日読んでいただき承認するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
<p>教育長</p>	<p>異議ないものと認め、そのようにいたします。</p> <p>次に、日程第4 教育長事務報告をいたします。</p> <p>一般事項(1)群馬県都市教育長協議会第4回定例会が、1月23日に安中市学習の森ふるさと学習館で行われました。会議では、報告事項として「全国都市教育長協議会令和5年度第4回理事会」及び「関東都市教育長協議会令和5年度第2回理事会」について、それぞれ結果報告があったほか、協議事項が2件、照会事項が1件ありました。</p> <p>私からの報告は、以上でございます。</p> <p>続いて、教育委員会各課の処理事務報告ですが、議案書に記載されている事柄について補足説明等必要なものがありましたら、説明をお願いします。何かございますか。</p>
<p>図書館長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、図書館長。</p>
<p>図書館長</p>	<p>図書館の処理事務報告につきまして、一部表記の見直しを行いましたのでご説明をさせていただければと思います。資料の30ページをご覧ください。上から2段目、③の在宅高齢者等配本サービスの表ですが、記載している資料のほかにビデオと紙芝居の実績についてこれまで表記しておりました。ビデオにつきましては現在なかなか再生機器を持っている方がいらっしゃらないこと、紙芝居につきましては個人で利用するという性質のものではないこと、そういった点と、これまでこの2点につきましては実績がなく、またこれからも利用実績が見込めないということを含めまして、表を見やすくするために表記を削らせていただきました。なお、今後もし利用実績が発生した場合には、その都度ご報告させていただければと思います。以上です。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほかにありますか。</p> <p>(事務局より「なし」の声あり)</p>

会議の経過

教育長	それでは、今回の事務報告につきまして質疑がありましたらお願いしたいと思います。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	3ページの生涯学習課に関することなのですが、毎年度新入学期子育て講座を行っています。今年度はどなたが担当するのでしょうか。また、一番伝えたい内容を教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	まず、小学校の新入学期子育て講座からご説明申し上げます。小学校新入学生の子育て講座を対象に、子どもへの接し方と家庭教育の基本を学んでいただくために講座を実施しております。講師は生涯学習課配置の家庭教育指導員が務めております。2月7日（水）に行われる第三小学校では、家庭教育指導員が学校へ赴き講座を行う予定ですが、2月2日（金）に行われる第五小学校、第六小学校、2月7日（水）に行われる第九小学校、2月8日（木）に行われる第八小学校につきましては、家庭教育指導員が作成した新入学生子育て講座用のDVDを流す予定になっております。また、小学校の新入学において一番伝えたい内容ですが、家族とは料理と同じく面倒を楽しむもの、道のりは長いが楽しく子育て、焦らず子どもと一緒に学び成長する親に、ということです。子育ては文字どおり親が子どもを育てることですが、同時に子どもが親を育てるともいわれています。また、子育てでは丁寧に暮らすこと、それが一番大切だと感じております。続きまして、中学校の新入学思春期子育て講座につきまして、ご説明申し上げます。こちらの講座は中学校新入学の保護者を対象に思春期における発達上の特性や保護者の関わり方等についての講座で、各学校に配置しているスクールカウンセラーの方を講師に子育て講座を実施しております。同講座において一番伝えたい内容ですが、親や学校や社会に言われて行動するのではなく、何でも自分のこととして考え、自分で決めて自分から行動する、そのような自分を探し求めるのが思春期です。子どもから大人への一歩を踏み出す思春期は、我が子が自らの夢や理想を追い求め、輝こうとする時期なのです。この時期、子どもは勝手に大きくなっていきます。親はその手伝いをするだけなのかもしれません。以上でございます。
栗原委員	小中学校で不適合を起こさず元気に通ってほしいと思います。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
金子委員	はい、教育長。

会議の経過

<p>教育長 金子委員</p>	<p>はい、金子委員。 7ページの渡瀬公民館で12月17日に実施したわたらせマナビィクラブですけれど、参加人数が多いですね。人数を見て多分子どもたちがすごく楽しそうに参加している姿を私も見させていただいたことがあります。今回は飯ごうで炊飯体験ということで、これはどのような方が中心になって行われたのか教えていただきたいです。また、恐らく公民館主体だとは思いますが、このような年間計画を立てるとき公民館だけではなくそこに子どもたちの意見を反映しているのかどうかをお聞きしたいです。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、生涯学習課長。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>この行事は渡瀬少年少女教室の一環で行われたもので、薪割り体験を含む飯ごう炊飯体験であります。流れといたしましては、はじめにお米とぎを調理実習室で行いました。次に屋外において薪割り体験、そして飯ごうに火をかけ、出来上がったお米はふりかけ等そういったもので試食いたしまして、最後に残った後火でマシュマロ焼きを屋外で行いました。参加者は児童33名、保護者12名、未就学児1名、区長2名、九小校長、公民館職員の計50名で行われました。火を使用したり、鉋で薪を割ったりと多少危険が伴う内容であったため、区長や校長に協力していただき、また低学年は保護者の参加を促し、大人の目を増やしたことで、野外体験として飯ごう炊飯ができました。並びに、鉋で薪を割る、薪で火を使うなど、貴重な体験ができ怪我なく実施することができました。当日は強風のため、当初予定していた屋外ではなく児童室で食事しました。重複してしましますが、おかずはウインナー、そしてふりかけで出来たご飯を食べました。また、火を感じてもらうために最後に行ったマシュマロ焼きはとても人気で、「もっとマシュマロを用意してほしい」というふうになり逆リクエストがあったということでもあります。また、年間の事業計画を立てる際に子どもたちの意見を反映しているかということにつきましては、私の把握不足もありまして、確認でき次第ご報告させていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。</p>
<p>金子委員</p>	<p>マナビィクラブの宿泊体験は昨年にもやっていて、子どもたちが楽しそうに公民館に向かっていく姿を私も何度も見ているので、子どもたち、それに保護者も巻き込んで一緒にやっていくというのも一つの手かと思いました。地域の方々も参加してくださっているので、そういった方々とのコミュニケーションが取れたり、学校とはまた違った開放感のある場で一緒に同じ学年の人たちと体験したりというのはとても楽しいことですので、</p>

会議の経過

	<p>これからもどんどん新しいことにチャレンジして行ってほしいなと思います。</p>
生涯学習課長	<p>今回は12月に行いましたが、飯ごう炊飯のときなどはどうしても風に左右されてしまうこともありました。時期的にどの時期が一番良いかというところを見極めながら今後進めたいと思います。</p>
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
木戸委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、木戸委員。</p>
木戸委員	<p>7ページの公民館12月行事の中で合同開催というものがいくつかありますが、例えば3館合同のプラネタリウムや、4館合同の工場見学がありますが、合同開催というのはどのように事業として決定されるのでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、生涯学習課長。</p>
生涯学習課長	<p>女性セミナーでの合同開催につきまして、プラネタリウムは郷谷公民館、大島公民館、赤羽公民館の3館で実施しました。また、工場見学は中部公民館、多々良公民館、渡瀬公民館、西公民館の4館で実施しました。ご質問についてですが、各館とも年度当初に年間事業計画を立てる際、例えば「何月頃にうちの公民館では科学館のプラネタリウム観覧を予定しているけれど、ほかの公民館でその企画に乗っていただける館はありますか」というような形でそれぞれ情報共有を行った上で、なおかつ、学級長や学級生と話し合いながら年間の事業計画を立てているような状況です。以上でございます。</p>
木戸委員	<p>プラネタリウムの参加者を見ると合計が38名ということでしたので、キャパシティ的にもったいないなと感じてしまいました。ほかの公民館がもし参加されるのであれば、決定した後でも誘っていただいた上で、参加人数が増えれば良いなと感じました。以上です。</p>
生涯学習課長	<p>貴重な意見ありがとうございました。</p>
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
堀口委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、堀口委員。</p>
堀口委員	<p>4ページの2月25日にみんなで楽しむミュージカルという事業がありますが、どのような内容なのかという点と、時間が朝5時と夕方5時となっていますが、これは誤りでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>はい、教育長。</p>

会議の経過

教育長 生涯学習課長	はい、生涯学習課長。 まず表記につきまして、表の一番右列の部分は定員数で、午前・午後にそれぞれ500名という形になっております。続きまして、概要についてご説明させていただきます。主催は館林市小中学校PTA連合会、出演は劇団Brilliant☆Smileです。同劇団の公演は昨年の市P連家庭教育委員会に引き続き、今回で2回目となります。演題は『ようこそ不思議の国へ「アリスとハートの女王のダンスパーティー」』で、幼児から大人まで楽しめる参加型のミュージカルとなっており、上演中に劇団員が客席まで下りて一緒に踊るなど、舞台と観客が一体となった公演内容となっております。なお、客席は明るいままで上演いたしますので、初めて舞台鑑賞されるお子様も安心してお楽しみいただけます。2回公演を予定しております。1回目の開演が午前11時、2回目が午後2時となっております。会場は日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホールです。現在募集をしております。第1部の方に300名の申込みが、第2部の方に200名弱の申込みがございます。参加は無料で、対象者といたしましては市P連会員、全16小中学校のPTA会員、市内の公立・私立の保育園、幼稚園、こども園、公民館子育て講座の会員、すすくサポート隊の参加者などが主な参加予定者となっております。以上でございます。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	11ページの青少年センターの補導について、小学校区特別補導の概要と、美園小学校は除くということでもた別の機会に実施するとは思いますが、その内容を教えていただきたいと思っております。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	冬の小学校特別補導につきましては、各小学校区の補導委員で日時を決めていただき行っているもので、美園小を除きました十校が行ったような状況です。美園小につきましては、1月19日に実施しております。以上でございます。
栗原委員	特別補導の内容はどのような感じでしょうか。
生涯学習課長	内容につきましては学校周辺の危険箇所等の見回り点検ということになっております。以上でございます。
栗原委員	ありがとうございました。

会議の経過

教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	10ページの補導員会運営事項についてです。臨時本部役員会議の内容に働き方改革を取り入れた補導班編成についてとありますが、具体的にどのような内容だったかを教えていただきたいと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	現在、市内小中学校16校から16名、群馬県立高校4校から4名、私立高校1校から1名、合計で21校から21名の教職員の方に補導員として活動していただいております。これまでは午後6時以降の補導活動がほとんどでございましたが、令和6年度以降は教職員の働き方改革に際しまして、補導活動の班編成再考により教職員への配慮や補導活動の効率化を試みるため、各学校が希望する補導時間帯をあらかじめ学校にお伺いして行うものでございます。実際には補導時間帯を17時前と18時以降のどちらが良いか選択していただき、学校の方で具体的な時間帯がある場合につきましては、お渡しした用紙に希望時間を明記していただく、そういった形で進めていくような状況でございます。以上でございます。
木戸委員	教職員の方々の働き方改革の一環という捉え方ということではよろしいですね。わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
金子委員	はい、教育長。
教育長	はい、金子委員。
金子委員	12月14日の学校トライ期間について、約1週間ほどありますが児童生徒の様子はどうだったかお聞きしたいです。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	お答えします。学校トライ期間については、日頃学校から遠ざかっているような児童生徒へ、相談員等も中に入りながら登校を促すというようなものでございます。この時期、研究所ふれあい学級の在籍児童生徒数が8名いたのですが、その内7名が期間中に登校できたということでもあります。中には複数回登校した児童生徒もいたと思います。具体的には、放課後に登校した児童生徒が5名、この際には担任をはじめ、管理職や学年の職員と会えたというような状況です。それから、部活動に参加できた生徒が1名、この生徒は複数回参加もしております。もう1名につきましては、相

会議の経過

	<p>談室の方に昼間の授業時間内で登校して相談員と過ごすというような状況がございました。以上でございます。</p>
<p>金子委員</p>	<p>学校に行って少しは友人との交流等ができたのかと思ったのですが、その段階ではなく、まだまだ本当に壁が厚いのですね。7名の児童生徒も恐らく学校に行くまでのハードルがとて高かったと思いますが、それを必死に乗り越えようとしているということもわかります。学校へ1時間でも2時間でも行って「学校ではこの壁の向こうに誰かが自分を待っていてくれるんだ」と、何かしら心を開けるようになれば少し違うのかなと思いました。今お聞きしていて、心が痛みました。その段階でも必死なのです。1回が2回に増えて、2回が3回と少しずつ増えていってくれるようになれば嬉しいです。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、堀口委員。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>同じページですが、12月7日の親子調理ではどのようなものを作ったりしたのかということと、参加された児童生徒の感想等があればお聞かせ願えればと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、学校教育課長。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>親子調理教室についてお答えいたします。作った料理ですが、12月の上旬という时期的なところで今回はクリスマスケーキを作りました。クリスマスケーキといっても、市販のロールケーキにホイップクリームを塗ってコーティングしていくというようなものです。今回に関しましては、会の司会も子どもたちが行い、また、事前指導としてこんなケーキを作りたいということで、用意されたものだけではなく、トッピングについて考えました。家族に食べてほしいというところから、兄弟、あるいはお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんに作るんだというようなテーマを設けて、イチゴが好きな兄弟にはイチゴを載せたり、チョコレートやビスケットを載せたりと、今は市販でいろいろなものがありますので、要は家族で好みそうなものというテーマを設定して作ったというのが今回の特徴だったかなと思います。ご質問の参加者の様子につきましては、やはり自分が食べたいのではなく人のためというところでの表情というのは、見に行った時非常に豊かなものがございました。終わった後の感想も単純に楽しかっただけではなく、子どもたちはもちろん「思ったよりできて良かった」といったものもありましたが、保護者の方から「うちの子はこんな</p>

会議の経過

<p>堀口委員</p>	<p>考えを持って工夫して作れるんだ」や「なかなか家庭で見られない表情や発想というものが発見できて良かった」など、そのような声を複数いただいたような状況であります。以上となります。</p> <p>ありがとうございます。子どもたちのそういった普段見られない姿が見えるということは本当に良いことだと思しますので、引き続きよろしくお願ひします。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、栗原委員。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>13ページの不登校児童生徒の状況に関して、令和4年度と比べて中学校は残念ながら増えてはいますが、小学校は少なくなっています。現状維持でもすごいことだと思っているのですが、減っているということで何か効果的なことがあれば教えていただきたいです。また、今年度も残り2か月ですが、最後の不登校対策で学校にお願いしていることがあればお話しただければと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、学校教育課長。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>不登校の状況について、今お話しいただいたように昨年は小学校で非常に増加率が高く、こちらも危惧したところがありました。4月や5月は昨年より少し増えたような傾向はありましたが、6月以降は数的には減っているというような状況です。これをやったから減ったというところはなかなか具体的に根拠まではお示しできないのですが、今年度から小学校に心の教室支援員を配置いたしました。2名の方が1週間のうち15時間ということですので、単純に考えれば1日3時間程度の学校への勤務ということになります。非常に熱心な方々で、4月から12月までの児童への対応延べ人数が826名という報告を受けています。保護者対応も21名、合計847名ということで、内訳的には学校への不応、不登校傾向をはじめ、発達障害への対応ということが非常に多いです。そういった中で、もちろん担任を中心とした対応をしているのですが、そういった方々に対して心を開いてきている子どもたちも増えてきているというような報告を受けております。そういった点が少しでも効果的な部分として不登校対応に生かされていれば大変ありがたいと感じているところです。もう一点ご質問をいただいた3学期の不登校対策ですが、これに関しましては11月中旬に学校不応対策会議というものを設けました。対象として各学校の教育相談等不登校への対応を中心にあたっている教員を集めたのですが、特に今</p>

会議の経過

<p>栗原委員</p>	<p>年度は4つの項目について現状をその中で伺った次第です。具体的には、児童生徒本人に関しての指導支援について、保護者・家庭に関する指導支援、学級担任それから校内の指導体制について、併せて関係機関との連携について、今年度の成果と課題を具体的に出していただきました。また、以前の定例会でお話がありましたが、今年度は各学校長の方に具体的な不登校対策について紙面で提出を願い、中間的な評価等を面談で行っているわけですが、そういったものも基にしながら改めて3学期に向けて3つの視点で校長会議を通じて各学校の方にお問い合わせしたものが 있습니다。この3点というのは、3学期だけではなく引き続きということももちろんありますが、まず児童生徒や保護者とのつながりを持ち続け、実態に応じた支援を行うということ。2点目に子どもたちが安心して学んだり過ごしたりすることができる居場所となる環境を整えること。そして、関係機関と学校が連携しながら支援していくこと。今年度、学校教育課では学校を中心とした関係機関との連携というところでイメージ図などを作ったものから、そういったものを基にしながら学校だけで全てやるのではなく様々な機関の中で不登校支援を引き続きお願いしたいということ。それらについて、重点として申し上げたような経緯がございます。以上となります。心の教室支援員の効果があるような感じを受けています。予算もあるので難しいとは思いますが、隔週で配置人数を拡充できれば良いのかなと思います。以上です。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、木戸委員。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>15ページ、16ページについてです。まず15ページにある12月2日第1回多々良沼講座の内容と、第1回ということで今後どのような予定が含まれているのかを教えてくださいたいのと、16ページにある2月18日両毛3市日本遺産こどもサミット、こちらの内容を教えてくださいたいと思います。</p>
<p>文化振興課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、文化振興課長。</p>
<p>文化振興課長</p>	<p>まず第1回の多々良沼講座になります。こちらは「多々良沼製鉄を紐解く」と題しまして、市史編さんセンターの専門員をやっている研究者の方にご講話をいただきました。会場が多々良沼公園管理事務所の会議室ということもあって15人ほどの少人数ではありますが、全員の方から「良かった」というアンケート回答をいただいております。内容としては</p>

会議の経過

昨年12月の定例会の中でもご説明させていただきました、カナクソと呼ばれるスラグの年代測定の結果、伝説よりも古く多々良沼の地名の由来であるタタラ製鉄がこの多々良沼で行われていたということが科学的に証明できたよというようにお話をわかりやすく1時間ほどご講話いただいて、非常に実りのあるものでした。多々良の講座は昨年度も実施してまして、昨年度はタタラ製鉄にちなんで刀剣についての講話や沼辺で観葉植物のワークショップなどを2回行いました。今年度は第2回講座を今準備しているのですが、多々良沼の芝生の上で太極拳をやろうといった講座を企画しております。続きまして、両毛3市日本遺産こどもサミットですが、お手元にその他でご説明しようと思っていたチラシをお配りさせていただきましたので、そちらを広げていただけますでしょうか。こちらのサミットでは館林市、桐生市、足利市の市長によるシンポジウムを昨年まで各会場で開催していましたが、一巡しましたので今年度は装いも新たに日本遺産に関わる子どもたちの活動を発表・紹介する機会を提供しようということになりました。館林市はご存じのとおり科学館の里沼コース、ROCKE T事業の延長線になりますが、こちらを紹介しました。桐生市は群馬大学の教授が主催となって行っている未来創生塾という子どもたちの勉強会があり、日本遺産を案内する実践ガイドというものをやっているそうです。足利市については少々難しいのですが、足利学校では子どもたちに孔子の論語を学ばせています。孔子とそのお弟子さんを祀る儀式を釋奠（せきてん）といいまして、大人の釋奠を12月にやっていて、また違う月に子どもたちにも同じようなことを体験してもらっているということです。それぞれの指導者の方、それから子どもたちに発表していただく予定となっております。以上です。

木戸委員

ありがとうございます。2月18日にイベントを行うということですが、例えば館林市のそういった会議に足利市の子たちや桐生市の子たちが来たり、逆に他市へ館林市の子どもたちが行ったりということは考えられるのでしょうか。

文化振興課長

私たちが目指すゴールとしては、子どもたちの交流ができて日本遺産つながりでそれぞれ刺激し合えることです。実際そこまでいくかどうかは何とも言えないところですが、目標としてはそのようなことを心がけております。

木戸委員

わかりました。

教育長

そのほか、いかがでしょうか。

金子委員

はい、教育長。

会議の経過

教育長 金子委員	はい、金子委員。 30ページが一番下に図書館の職場体験がありますが、この職場体験は2日間ですよね。私たちが普通働く時間帯よりは短いと思うのですが、何時間ほど従事していらっしゃるのでしょうか。また、この職場体験の目的と、邑楽町の生徒を1名受け入れていらっしゃるのは何故かをお聞きしたいと思います。
図書館長	はい、教育長。
教育長	はい、図書館長。
図書館長	ご質問にお答えいたします。まず時間を申し上げますと基本的には9時から3時というのが一般的に多いです。1日目・2日目共に9時から3時となります。こちらの目的につきましては、様々な図書館としての業務を体験していただいて図書館自体の利用へつながっていくということですが、学校といたしましては基本的にやはり体験学習と進路学習の一環として職場体験をしているということで受入れの依頼をいただいております。邑楽町の生徒につきましては、元々2名受け入れる予定でした。この2名は元々邑楽町の図書館を希望されていたのですが、向こうの受入れ枠が満了になってしまったということで、館林市の方で受け入れてもらえないかという相談があったものです。図書館そのものは館林市民だけではなく、近隣の方々にもご利用いただいているところから、学習の機会であるということで受け入れる形を取らせていただきました。学校の方の話ですと、大体自転車で行ける半径10キロメートルくらいまでを職場体験場所として設定しているということです。結局1名になってしまったのは、当日の朝に電話がありまして1名インフルエンザになってしまったことから、結果的に参加できたのが1名となっております。以上です。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	職場体験の目的ということで図書館長も話されていましたが、職場体験自体の所管課としての補足です。元々は進路指導の一環ということであったわけですが、現在ではキャリア教育の中の大きな柱となっております。キャリア教育は小学校から中学校まで、もちろん高校も含めて系統的な指導をしており、特にこの中学校2年生を対象とした職場体験というのは中学校3年生の進路決定を直前に控えて、それまでは小学校高学年や中学校1年生での職業調べなど、いわゆる机上学習が多いのですが、実際に中学校2年生で公共施設はもとより、商工会議所が中心となって様々な職種を体験させていただくことによって、コロナ禍で数年はできなかったのですが

会議の経過

金子委員	自分たちの生活がいかに人とのつながりによって生かされているのか、成り立っているのか、そういったことを学ばせながら職業観を広げていくというような目的がございます。以上となります。
学校教育課長	ありがとうございます。生徒があえて図書館を選ぶということは、図書館に対してこのようなことを図書館の中で学んでいきたいというような何か希望のようなものがあつたのでしょうか。
金子委員	一般的には、本が好きな生徒やそういった興味を持っているところが非常に大きいと捉えております。以上です。
教育長	ありがとうございます。
堀口委員	そのほか、いかがでしょうか。
教育長	はい、教育長。
堀口委員	はい、堀口委員。
向井千秋記念子ども科学館長	27ページの2月行事で、2月23日に理科工作教室がありますが、こちらに書いてあるKK式スーパー紙飛行機というのはどのようなものでしょうか。
教育長	はい、教育長。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
堀口委員	お答えいたします。こちらは日本宇宙少年団館林分団の指導者が設計したよく飛ぶ紙飛行機のことです、KKとは、設計者のイニシャルでございます。飛ばし方としては、紙飛行機に輪ゴムを取り付けて割り箸を使って遠くへ飛ばすといったものでございます。なお、本日のROCKET LabにおいてKK式スーパー紙飛行機作りをやっておりまして、作った後に多目的ホールで飛ばしておりました。以上でございます。
教育長	わかりました。ありがとうございます。
木戸委員	そのほか、いかがでしょうか。
教育長	はい、教育長。
木戸委員	はい、木戸委員。
文化振興課長	17ページの文化会館・三の丸芸術ホール利用状況について、一番下の総計を見ると回数が前年度比114.3%になってはいますが、この日数人員が前年度比で7割に満たないというのは、コロナ5類移行前後もあると思うのですが、なぜ人数が少ないのか考えられる要因はあるか質問させていただきます。
教育長	はい、教育長。
文化振興課長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	こちらの表の見方から説明したいと思います。まず日数と回数、人員又は

会議の経過

	<p>入場者数とありますが、この3つの項目に分かれています。日数というのは純粋に施設が会議等で利用された日数です。回数というのは午前・午後・夜間と3つの使用枠に分かれています、例えば1つの会社が朝から夜まで借りると3回というカウントになります。人員というのは実際に施設を利用した実数になります。表を見ていただくと累計という箇所がありますが、これは4月から12月までの累計になっています。ご指摘いただいた総計の部分は12月のみの数字となっています。これがこの表の見方です。人員が低い理由というのは、私も改めて見直したところ、去年は12月に大ホールで催し物が結構ありまして、宗次郎のコンサートや、大人数で来ていただいたものと生涯学習課で担当していた群馬県PTA連合会館林市大会というものがあって県内から大勢の方がいらっしゃいました。12月は基本的に開館している日が少ないものですから、このような大ホールの大きな事業が2つほどあると、人数が下がってしまうというのが理由の一つです。日数が少ない点については色々調べていたのですが、去年は市内や邑楽郡に大型商業施設の出店が随分ありました。採用面接や社員研修等での利用が非常に多く文化会館でも出店バブルがあり、昨年と比べるとその辺りの数が少ないのかなという傾向にあります。以上です。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>わかりました。標準的なのは今回の数字であって、前年度の12月が高かったということで理解しました。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、栗原委員。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>27ページの科学館事業で、ROCKET Labが第16回、第17回と開催されています。2月の内容を教えていただきたいということと、この1年間取り組んできての成果と課題、令和6年度もROCKET Lab事業は継続されるのかを教えてください。</p>
<p>向井千秋記念子ども科学館長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、向井千秋記念子ども科学館長。</p>
<p>向井千秋記念子ども科学館長</p>	<p>3点ご質問をいただきました。まず、第16回と第17回の内容についてです。第16回につきましてはサバイバルでご飯と題して、災害時においても生き残れるよう炊飯器を使わず固形燃料とアルミ皿を使ってご飯を炊くプログラムでございます。第17回はプラネタリウムを観てクイズを作ろうという題で、題名どおり、Labの子どもたちがプラネタリウムを観た後、クイズを作るものでございます。作ったクイズはパネルで展示し</p>

会議の経過

	<p>てまいります。この取組は昨年度も実施し、L a bの参加者及び来館者共に大変好評でございました。次に、1年間の成果と課題についてです。今年度もROCKET L a bでは各プログラムを通して学年が異なる参加者同士が交流を深められたほか、地元企業や関係各課と連携することで、社会との関わりを意識できるような活動になりました。また、今年度は会場まで来ることのできない子どもたちに対しても学びの機会が得られるようにとオンライン配信を行い、市内のフリースクールにプログラムを提供することができました。課題といたしましては、オンライン配信を各学校の相談室経由で参加を呼びかけたのですが、今回はありませんでした。そのため、今後はプログラムの内容や開催時間、周知方法などを検討するとともに、事業全体についても周知する必要があると考えております。今年度について嬉しいことが1つございまして、昨年までROCKET L a bに参加していた生徒が高校に進学し、学生ボランティアになりL a bの活動に支援者として協力していただきました。このことはROCKET L a bがこの生徒にとって身近な居場所だったといえると考えております。最後に、令和6年度も継続するかについてお答えいたします。来年度も人気のプログラムを継続するとともに、企業や関係各課等と連携しながら新たなプログラムを開発するなど、引き続き開催してまいります。以上でございます。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>様々な機関と連携があると不登校の方にとっては良いのかなということがあるので、更に充実していければと思います。ありがとうございました。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、堀口委員。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>資料には特にはないのですが、給食のことでお聞きしたいと思います。今月から期間限定ではありますが給食費が無料になったということで、どのような反応があったかということと、私学に通われている児童生徒の保護者からの申請はどの程度あったのか教えていただければと思います。</p>
<p>学校給食センター所長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、学校給食センター所長。</p>
<p>学校給食センター所長</p>	<p>反応について、センターに届いているものはほぼありません。例えば苦情のようなものが1件、その人は幼稚園の保護者だったのですが、なぜ小中学校だけなのかという、そのような連絡はありました。問合せで多かったのは手続の方法です。どのように申請すればいいですかという内容の問合せがあった状況です。私学の方には補助金として給付することになります</p>

会議の経過

	<p>ので、こちらにつきましては185人ほどと今のところ想定しています。現時点での申請は43人ほどになっています。締切が2月29日までですのでまだ期間があります。締切があるというのは保護者宛ての通知では私学の方はわかりませんから、1月1日号の広報紙に1回出しているのですが、2月1日号にも出せることになりましたのでそちらで周知をしていきたいと思えます。もちろんホームページも継続して掲載しております。以上です。</p>
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	19ページの2月行事予定について、スケートの大会で1名が群馬県に派遣されるということですが、この方はどのような選手なのでしょうか。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。
スポーツ振興課長	ご質問にお答えいたします。派遣される1名につきましては、市内在住の男性で63歳の方です。競技種目につきましては、男子60歳代の500メートルに出場する予定となっております。参考ですが、出場順位につきまして、近年では令和元年に5名、男性が3名、女性が2名の参加がありましたが、参加資格であります市内在住・在勤・在学等の制限の関係で現在は1名になってしまっているという状況でございます。以上です。
木戸委員	館林市という環境では競技として続けるのはなかなか難しいのかなと感じます。その1名の方もご高齢ですが、ぜひずっと続けていただければありがたいと思えます。
スポーツ振興課長	同じ2月行事予定の中に2月17日・18日とスキーの競技大会がございまして、そちらには20名ほどいるのですが、スケートとなりますと近隣にスケート場がない、クラブチームがないといった中で、なかなか馴染みが薄くなってしまいうこともございます。今後とも出場できるようにいろいろ啓発等はしていきたいと考えております。以上です。
木戸委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、ございますか。 (委員から「なし」の声あり)
教育長	ないようですので、事務報告は記載のとおり承認するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)

会議の経過

<p>教育長</p>	<p>異議なしと認め、記載のとおり承認するものといたします。 次に、日程第5 議事に入ります。 議案第1号及び第2号につきましては、館林市教育委員会会議規則第17条第1項により非公開としたいと思いますが、非公開としてよろしいでしょうか。</p>
<p>教育長</p>	<p>(委員から「異議なし」の声あり) 異議なしと認め、ただ今から教育委員会を非公開とします。該当者については、一時退室を願います。</p> <p>【傍聴人 退室】</p> <p>(非公開)</p> <p>【傍聴人及び事務局対象者 入室】</p>
<p>教育長 文化振興課長 教育長 文化振興課長</p>	<p>次に、日程第6 その他で何かございますか。 はい、教育長。 はい、文化振興課長。 お手元の市立第一資料館特別展「幸福は愛より始まる」のチラシをご覧ください。藤野天光生誕120年を記念しまして、こちらの特別展を企画しております。天光についてはご遺族から平成15年に370点の作品を寄贈していただいております、そちらの作品を展示するものです。今回は彫刻40点、それから色紙や短冊などの遺品10点、合計50点の資料を展示いたします。タイトルの「幸福は愛より始まる」というのは、天光の座右の銘です。タイトルのとおり、愛あふれる展示作品になっております。チラシのメイン写真に使っているこちらの作品は『愛』という題でして、天光独特の柔和な表情、愛そのものを感じさせる作品となっております。県立館林美術館の方で今「ヒューマンビーイング」という企画展をやっております、こちらにも天光の作品が展示されています。教育委員の皆様方にも、お時間を作っていただければ幸いです。以上です。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。 (委員等から「なし」の声あり)</p>
<p>教育長</p>	<p>ないので、以上で本日の全日程を終了します。 これにて教育委員会を閉会します。(午後4時19分)</p>